令和4年度自己評価結果

1. 幼稚園の教育目標

・情操を豊かにし、優しい心を育てます。

・健康で元気な、心の安定した子どもらしい子どもに育てます。

・友達との集団生活に素直に入ってゆける基礎をつくります。

・自分で考え、判断し、行動することが出来るようにします。

・正しいことばを使い、ありがとうの言える子どもに育てます。

1. 重点的に取り組む目標や計画

　　・安心感を持って園生活を送り、様々な経験を通して、お友達とのつながりを感じなが

　　　ら達成感や充実感を味わう。また、自主性を大切にしながらやり遂げることを通して自信を持つ。

　　・他者を思いやる心、良好な人間関係への基盤を作る。

1. 評価項目の達成及び取り組み状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価項目 | 取り組み状況 |
| （1）保育の計画性 | ・新型コロナの状況に対応しながら、お友だち同士の関わりや活動を判断し少しでも楽しい日々が過ごせるよう職員間で相談し合い保育に努めることが出来た。・園内研修を行う中で自分の保育を振り返り、職員同士で話し合うことで保育への学びが増え日々の保育に活かせている。・子ども達個々の発達をきちんと把握し、子どもの目線になって環境などを再確認するように心掛けていく。・子ども達が自分たちの力で、より主体的に活動できるよう環境を整えていく。体や心全部で色々な事を感じ取れるよう季節や自然なども大切にする。 |
| （2）保育の在り方・幼児への対応 | ・自分のクラスの子だけでなく、園全ての子ども達との関わりを大切にしている。少人数性ということもあり、全職員で全園児を共通理解・対応できるように心掛けている。・行動を急かせる言葉掛けをしてしまうことに対して、集団を意識しながらも一人ひとりを理解し、保育者の方で余裕のある時間作りをしたり、子どもが自ら見通しを持って意欲的に行動できるように工夫していく。 |
| （3）地域の自然や社会とのかかわり | ・コロナの影響により小学生との交流の場を設けることは出来なかったが、自分たちの住んでいる地域をみんなで探検したり、おみこしを担いで回ったりすることが出来た。その中で、地域の方とご挨拶をしたりと関わりを持たせて頂けた。・地域の方にお話をお聞きしたり交流できる機会を増やしていかれるよう計画していく。。 |

1. 総合的な評価結果・次年度への取り組み

・コロナも少しずつ落ち着いてきた中での保育となり、昨年よりも出来ることが増え、当たり前にできることの大切さやありがたさを改めて感じることが出来た。この“普通”に子ども達と園生活が送れ、一緒に過ごせるということの感謝の気持ちを忘れずに今後も保育に取り組んでいきたい。

・年齢ごとクラスは決まっているが、自由遊びや昼食など日々全クラスが混ざり合って過ごすことも多い。そのような中で上の子は下の子に優しく思いやりを持って関わったり、下の子はお兄さんお姉さんに憧れをもって慕う姿もあったりと、それがごく自然にみられる。クラス関係なくみんな仲良しというのがとてもいい所であるので大切にしていきたい。

・季節を感じたり、伝統あるもの等を大切に感じたりできるよう、更に計画を深めていきたい。

・少人数だからこそ出来ることを大切に、職員全員で園児一人一人を大切に、みんな仲良く明るく元気よく園生活を送れるよう引き続き努力していく。